

幼見之教育



號 八 第 號 月 九 卷 四 十 四 第

內 校 學 範 師 等 高 子 女 京 東

會 協 園 稚 幼 本 日

保 育 奉 公

大 東 亞 戰 爭 必 勝 完 遂

第 四 十 四 卷 幼 兒 教 育 第 八 號

— (次 目) —

空襲下に於ける幼児の取扱ひに就て……………	内藤壽七郎(一)
疎開幼児の生活……………	(野崎米謙子(五))
わが子の疎開……………	阿部廣司(二)
疎開地に於ける子供の生活……………	畑村春子(三)
鳥取に疎開して……………	福田静子(二五)
海の遊戯……………	上遠文子(一七)
紙芝居と幼児……………	倉橋惣三(一九)
決戦下の幼児保育者諸君へ……………	倉橋惣三(三三)
艦上戦闘機「日本幼児號」献納……………	(二五)
日本幼児飛行機献納金受托報告(第二回)……………	(三五)

空襲下に於ける幼児の取扱ひに就て

内藤 壽七 郎

敵機の意圖に乗らぬこと

北九州や九州西部更に山陰地方まで敵機の來襲は漸やく活潑になつて來た。帝都は一昨年四月以來敵機の來襲を受けてゐない。尤もあの當時に今までは設備の上でも亦心構の上でも比較にならぬ位の差があるとは思ふが又一方來襲する方でも手を替へ品を代へて來るに相違ない。焼夷彈や爆彈による物に人々の損傷の他に、精神的の被害を狙つて毎夜毎夜睡眠障碍の目的で來襲して國民をして疲勞困憊の極意を喪失せしめん等の企をなすであらう。空襲下に於て、家を守り、己の身を守り更に其の上に乳幼児の直接の保護に當る可き母親及び保育者等は餘程普段から準備即ち物に設備を、更に心の用意を怠つてはならないのである。

完全なる待避は疎開である

疎開こそ最も完全なる空襲対策に云ふ可きである。前述の如く女性の中で最も最初に、而も最も容易に疲勞困憊に陥り易いのは自分の身體の他に更に多數の子女を保護しなければならぬ母親であらう。前大戰の折り、ベルダン激

戰の後愛兒や、夫を失つた獨逸の母親や、妻達が、ベルダン要塞の名を恐怖に滿ちた面持で嘔やき交し出した時に既に獨逸は破れたのであるとも云はれる。斯るこゝのないやう、空襲警報下には、身輕に、防空活動が出来て、空襲警報をさあこいさばかりに待ち構へるこゝの出来る人達のみが危険區域には踏み止つておる可きである。學童の疎開も緒に着いた現在、乳幼児を有する母性の強力なる疎開が先づ第一に考慮される可きを考へる。最も安全且つ國家的に見て要望されることは事前に於ける疎開である。疎開地に於てはそれぞれの氣候、風土に適して子供達の生活は組み立てられなければならないが、之のこゝは茲には觸れないでおく。

現地の待避

現地に於て敵機の來襲に會つた場合どうするか。眼目として幼児は防空活動は全く不可能であるので保護一點張りであり、而も恐怖心のために母親や、其他の保護者達の防空活動を阻害せしめないやうに處理されなければならない

い。

隣組單位の幼兒待避に就て

保育所、幼稚園等でも空襲警報が発令された場合は、幼兒は大凡そ各自の家庭に戻されて居る故、家庭に於て各々待避させることなる理である。

隣組單位の待避の必要なる理由

隣組中に幼兒取扱ひに慣れた人が若し居る場合には可能である。防火に對して機敏なそして充分な活動をする場合、幼兒を抱へた母親程氣の毒なものはない。四―五ヶ月頃までの乳兒なら却つて扱ひ易いが、人見知りを覺えたり、更に母親の後追いなぎをする様な子供であること全く仕末に困るのである。泣き叫ぶ吾子を後に一人置いては、吾國の女性には子供に對して情が厚いのであるしまして母もなれば機敏な活動が出来難いこと察せられるのである。最初の三十秒間に於ける消火活動が要求せらるゝ場合、幼兒が居つたのでは甚だ不都合である。消火の命令一下直ちに飛び出せる様に心の準備を整へさせてやらねばならない。茲に幼兒の隣組單位の待避を云ふことの意味を重要さが存するのである。

待避の實施

幼兒の隣組單位の待避の實施上如何なる要素が考へられるか。第一隣組に於て比較的大きなそして、現在の資材狀

態に於て能ふ限り完全に作つた、例へば横穴式、或は掩蓋が有つて、小さな子供でも危くない様に下だつたり上つたりする。この出来るゆるやかな石段の如き昇降設備のあるもの。そして中には壕の兩側避に沿つた横に長い板張りの腰掛をおき子供達を疲れしめないやうにして、保護者は中で子供達に目を配り易いやうに中央に位置をさる。壕の中に入つたら怖け慄い乍ら不安の數刻を過すこと云ふのでなく、防空壕の中に入つたら繪本位見せること出来るだけ子供の注意を壕の外にそらさないやうに取扱はねばならない。そうでない實例もある如く、空襲後までも精神の異狀興奮狀態が長く續き、時には、夜驚症等の障礙を残すに至る。夜驚症は御承知の如く、神經質の子供殊に四―五歳以上位の年齢に現はれるもので、突然夜中に飛び起きて怖いゝゝ叫んだり、高度のなる寢室を飛び廻つたりする。そして翌朝はけろりとして全く、夜中のことを覺えてゐないこと云ふやうなものである。こんな風に子供がなつてしまつたのでは甚だ困る。子供の健康上は勿論のこと、この爲には家人は毎夜睡眠を防げられてしまふこと云ふことになる。

恐怖心の防止

子供達には出来るだけ恐怖心を起させないやうにした。吾々も幼兒時代汽車の通過するのを眺めては喜んで遊

んだが、其の時機關車の警笛が怖いので耳を指で塞いでゐたこゝを思ひ出すし又、雷の時も子供はよく耳を塞いでしまふ。即ち大音響による耳からの刺戟に非常に敏感なのである。敵の投下する爆弾の破裂の大音響に對して幼児は殊に恐怖を感じ易いと思はれる。故に先づ恐怖心を去る一方法として敵機來襲中、殊に防空砲火の音の旺な間は必ず耳に固い綿栓を施すこゝが必要である。

そして一方待避壕内に於ては繪本等を見せる位の餘裕ある心構へが保護者に欲しい。又敵機が上空にゐない時は皆の耳の栓をもらせて、お話しをしてやるやうなこゝもよい。勇氣のある人の話なざしてやれば子供達は恐怖に慄くこゝもよい。いまに爆弾が下るか、直撃弾でも落ちて來るのではあるまいかなざ子供と一緒に心配してゐるやうでは敵の思ふ壺であつて負けてゐる。子供達を爆弾の爲に身體的を防ぐばかりでなく、其の恐怖即精神的破壊からも防いでやらねばならない。茲に普段幼児を扱ひ慣れた人達の技術の發揮さる可き所があると思ふ。

身體的の方面については、食物の與へ方、及び夜であれば睡眠のせらせ方、冷へ込みの防止等が問題となる。

隣組單位に子供を集めるこゝは夜間に空襲が始つた時は一寸困難である。此の困難を除去する意味から、子供を母

親達がつれて集るゝすれば餘程足場のよい、そして皆の家から好都合の場所に、防空壕がなければならぬ。その點晝間であれば保護者が各家庭を廻つて子供を集め近所の子供達が數人手をつないで集るゝよい。この時も決して、早くくゝまか、それつゝ云ふやうな慌しさは禁物、迅速ではあるが心靜かにしなければ子供達に壕に入る前から怖けてしまふ。又晝間から始つて引きつゝいて夜になるこゝもあらう。晝間はよいにしても夜になるゝ心細く、殊に睡氣を催すゝ其が一層著しくなつて來る。併し又一旦眠らせるこゝが出来たとしても、眠る前に恐怖の爲に興奮して兒童達は又往々にして恐ろしい夢のために泣いて目覺めるこゝもあるから寢つかせる時は餘程心を落着けさせねばならぬ。そうしないゝ睡眠不足の爲に、胃腸障碍や免疫力の著しい低下を來すからである。空襲は一日一回ゝは限らない、連續して、時を選ばずに來るこゝを考へておくべきで、毎日毎日睡眠不足してゐたのでは駄目である。乳幼児にまつて睡眠時間が如何に多きを要するか。乳兒時代、二十—十六時幼兒時代十六—十二(平均十四時間)である。而も之は戸外によく遊ぶこゝにより、深い睡眠をまつた場合のこゝであるこゝを忘れてはならない。深い、そして充分なる睡眠こそ健康の基である。空爆により直接の肉體的の損傷を蒙らないでも、睡眠不足が原因で其後に病氣になるこゝ

があれば之も空爆の被害云はなければならぬ。
冷へ込みに就て

睡眠中は體温下降を防止する作用が低下する。これが寢冷への原因である。平時でも子供が病氣をするのはこの寢冷へ、即ち明け方に下降する氣温に對して、體温降下防止作用が不完全であることに起因する。これから秋季更に冬季となるにつれてこの冷へ込みの防止には餘程注意する必要がある。このためには、一番冷へ易い足殊に膝から下を包むことで、私はこの爲にはズボンをはいた上から更に兵營に於ける寢具の如く膝から下をすっぽり密封筒式に包むとして膝の所で、紐で結びつけておく必要があると思ふ。
食物を與へる場合量を過ぎないこと

又恐怖のため食飲を忘失してゐることもある。夜更けまで壕内で起きてゐることも、空腹になるのであり、又體温の保持も困難なるので、夕食後四時間以上を經過したる幼児には食べ物と與へる必要がある。そして充分體温の發生した所で、足をつんで温める割合に深い眠りをとるこゝが出来ぬ。若し事情がゆるせば、ゆたんぼを携帯する。之を飲料にしても體が温りよく眠れるし又足の方をも温めてやれるし好都合である。飲料水は餘程多く準備しておいてよらしい。人間は興奮した時や其の後は必ず渴を覺えるものである。

便器

北九州の場合でもやはり排泄には餘程困つて、用便の爲一寸壕を出た爲に負傷した云ふ例もある。殊に緊張する小便の回数が多くなるのは吾々成人でも試験の前にやたらに便所に行く人のあるのを見て解る。必ず、壺、ばけつ、桶類を一―二ヶ用意しておくこと。

以上は幼児を取扱ひ慣れた人が隣組單位に幼児を預る云ふことを前提にして私の考へを述べたので皆様方の御経験や、御工夫等によりもつ立派なものがあらはれることと思ひますが要は幼児を恐怖より守り、更に其の後に起る可き疾病より守る云ふ點にあらうかと思ひます。

謹告

本誌八月號は休刊致し、九月に於て八、九兩號を合冊発行いたしました。

昭和十九年九月

日本幼稚園協會

疎開の生活

わが子の疎開

野崎謙三
野崎米子

わが子を疎開

させて—父

確か七月十五日頃の朝と思ひますが、何時もの様に出勤の途中子供を幼稚園に送り届ける積りで、大塚仲町で都電を降り、手を引いて、校門の數十歩手前迄さしかつた際、突如警戒警報のサイレンを耳にしました。

豫て幼稚園よりは、こゝにいふ際の御注意を細かく承つて居りますので、即座に宅に引返す決心をして、先づ毎日携行して居る包みを開いて路上で、子供に防空服装を整へさせて、仲町迄引き返して都電を待つて

居る内に、附近の國民學校の児童が先を争ふ様に停留所へ殺到して來ました。見ろ見る附近は児童達で埋まり、幸ひ私達は一と足早かつた爲に辛くも乗車出來ましたが、車内の混雑は一と通りではありませんでした。

私の宅は幼稚園より徒歩しても、幼児の足で二三十分の程度の距離に在りますので、この様な場合には大變心強く思ひますが、車内の児童達の何となく落着かない心配さうな顔色を見てますと、若しこの場合次の瞬間に空襲警報のサイレンが、鳴り渡つたなら、一體どういふ結果になるであらふと、眞剣に考へて見る氣になりました。

勿論これまでも、幼児の疎開に就ては戰

局の苛烈化する度毎に、幼稚園よりも御話を伺つて居りましたし、又私の宅でも國策に従つて、荷物疎開等は一部行つて置いたのですが、幼児を中心とする家族疎開となると、何時でも最後の具體的實行方法に何か割り切れないものが残つて、一つには自分の仕事の忙しきにもがまげ、つひその儘になつて居りました。この瞬間(といふと大袈裟で恐縮ですが)これはどうしても、本腰を入れて幼児の疎開を實行しなければならぬもの、咄嗟に決意し宅へ戻つて早速家内に實行方法を相談しました。

疎開先に就ては幸ひ家内の實家の郷里が米澤市に在りますので、少しも迷ふこと無くそちらに行かせる事に決めました。郷里と云つても、家族は平素東京に在つて、家は留守番の老夫婦だけが守つてくれて居るので、疎開には何の氣兼ね要らぬ慈まれた條件と云へませう。

偶々夏休みも近づき、夏季保育に就て幼稚園より御知らせがあり、其の中に「疎開の御薦め」といふ一項を拜見しましたので、これを幸便に早速先生に疎開の御許しを願ひ出で、一方直ちに準備にかかりました。

私の宅では昨年女中が郷里へ歸つてしまつて以來、人手が無く暮して居りましたが、加へて幼稚園の兒の下に最も、手のかかる誕生間際の赤坊が居りますので、この様な場合には、非常に困りました。家内は配給と炊事と赤坊に追はれ乍ら片手間に片付ける事なので能率更に擧らず、僅か子供達の身の廻り品と當座の日用品を取り揃へて、小荷物で送り出すだけの事ですが、準備に數日を要して實際の出發は、七月三十一日になりました。

此の間戦局は愈々苛烈の度を増し、痛ましくもサイパン、同胞玉碎の悲報の發表もあり、老幼や學童の疎開は最早國家の方針として行はれる状態になりました。偶然にも私共の決心は、僅か數日とは云へ國策に一步先んじて、而もこれに従ふことになつた譯です。

出發に就ては、車中手廻り荷物や子供達のこともあり、心配しましたが、好都合な事に、二十日前後には、私自身社用で東北に出張する豫定がありましたので、それを兼ねて現地まで送つてやることにしました。

汽車は食事の關係上十九時發の夜行を擇び、折から東北方面風水害による交通事故のため、奥羽本線は車内大變混みましたが、翌二十二日早朝兎も角も無事に現地に送り届ける事が出来ました。

× × ×

扱、子供達に母親をつけて疎開地に送り出してしまふと、私の家庭では、東京に残留するのは、自分が獨り丈になります。自宅の管理、三度の食事、配給品の受取り、防空訓練等、平時と異り随分、雑用が多く、其他色々の不便、不自由や困難は、現實となつて俄か隗夫に對して一度にぶつかつて來ました。

豫め覺悟はしてましたが、いざとなると仲々大變な事はかりで、眞實なところ最初の一週間は可成辛い氣もしましたが、だんだん獨りすまるも勝手が解つて來て生活にも慣れ、幸せな事に親類が直ぐ近所に在つて面倒を願へる事と、隣組の方々が何かと御親切にして下さいますので、さうやら切抜ける自信がつかしました。

この四週間を經過して感じます事は、私の宅の様な疎開の仕方でも、後に残る者の

問題は自分自身が恒に健康でさへあれば、方法如何にもよる事でせうが普通の人なら、何とか解決が出來得るのでは無いかと、申上げる事が出来る様に思はれます。

大戦争を戦つて居るといふ非常時意識が、不便不自由を忍耐させてくれるは勿論ですが、何といふても自分を一番勇氣付けて呉れるのは、やはり極めて大きな一つの安心感であると思ひます。

「呪はれた様な敵機の爆彈の破片や爆風が、萬一にもお前の幼い子供達を傷けたらどうするか？」といふ質問に對して、自分のところに限つてそんな事はあり得るものかとも、その位は、戦争して以上當り前の事ぢやないかとも、空嘯いて濟ますことの出來ない私共の様な人間は、その質問に適當な答を考へ付く先に、酷らしく泥と血に塗れた小さい掌や、爆風に打たれて失神したり、凄じい火焔や煙に巻かれて倒れる幼い兒の姿が、幻影となつて目の前に大寫しにあらはれて來ます。

撃たれても破壊されても、何冀と愈々火の玉となつてどこまでも家を護り、職場に嘯りつかうとする日本人の闘志を傷け得る

ものが若しあるとすれば、それはこの悲惨な幻しでは無いでせうか。この幻影も妄想も微塵に打碎つて、空中にけし飛して失つた喜び、何にも代へ難い大きな安心感こそは、幼い者を疎開させて初めて感じ得るのであります。孤獨、寂寥の如き弱々しい、小さな感傷は、この偉大な安心感の前に影も無く消失して失ひます。

子供が地方に疎開して次に楽しみなのは、空氣の良い環境の清浄な天地で、手許から離れてる間にどんなに、丈夫に育つて行くかといふ事と思ひます。都會の濁つた空氣の中で、殊に昨今の様な不足勝の榮養で、押へられて来た子供の健康が、燦々と日光を身體一杯に享ける廣い天地で、弦を離れた矢の様に、うんと喰べ、高く跳び撥ねて、眞黒に逞しく伸び、ケン／＼育つて行く、見違へる様に肥つて大きくなつて居る。

この様な想像は、單に想像だけでも親として、充分楽しい事で御座いますが、疎開する事が、現在の都會地では到底望めないこれ等の希ひを、可能に近くしてくれる期待は實に大いなる喜びであると思ひます。

米澤の家は町の郊外に近い處にあつて、庭の直ぐ前から廣い田圃が連つて居る、半田圃的環境に在ります。庭から一步垣根の外に出れば、綺麗な水の流れる小川があり、それを跳び越せばすぐ青い稻が手に觸れます。疎開した最初の日で、まだ夜行の疲れが喉の邊に残つて見えるのに、子供はもう外に飛び出して名も知らぬ野草を摘んだり、おはぐろ蜻蛉を追つたり、流れに脚を浸したり夢中で喜んで居りました。手に觸れ、眼に映る總てが自然其物である疎開地の世界が、都會で育つて来た子供には、全く驚異と好奇の對象である様でした。

自然に觸れ自然と遊んで行く間に、自ら享ける大自然の感化は、幼い兒にどんな大きな好い影響を與へて呉れるかと、傍で見ると私は嘗て無い嬉しさを覺えて歸りました。

うちの子供はどちらかと云へば、感受性の鋭い、云はゞ神經の細かすぎるたちの兒の様に思はれます。幼兒としては寧ろ届きすぎると思はれる注意力が、都會の繁雜な日常事から、大自然に振り向けられて、幼い科學する心を培ひ、一方幾分尖がりすぎ

て居る角を圓くして呉れる。自然に親しんで、何により私が女の兒に望んで居る、優しい情操が養はれる。色々な快い空想が次から次へ想ひ起されて、子供の日々の生活の一駒一駒を楽しく幻想する事が出来ま

す。都會に生まれ今迄都會を離れず育つて来た子供が、この田舎の風物に接する機會を得ましたのは、疎開の御蔭とも云へます。

幼兒の個性や生活を正しく觀察して上手に保育することは、幼稚園より御指導を頂いて、何時も一生懸命努力して居る積りではありますが、宅の子供の場合は長女でもありませんが、何事も斬らしい経験であつて、保育する事それ自體に追はれて、これを判断しつゝ適當な方針を決めて行く餘裕の無い事を子供のために兼ね兼ね残念に思ふて居りました。子供が長期間身邊から離れて而も朝夕兒の上を考へながら生活することは、それがふた親のいづれか一方である場合でも、子供の育て方とその結果について、靜に反省する時間が與へられます。今迄も職業上、私自身は、随分長期間の出張等でこの様な場合が無いわけでもありま

せんでしたが、そういう場合は何時も仕事

其の物が、中心で他を省みるゆとりが無く
仲々この様な開が無いのが常でありまし
た。どなたでも同じと思ひますが、自分
の生活が平常の譯であつて、然も或期間子
供と離れて暮すといふ事は、私の様な職業
を持つ者には、殊に仲々求め得難いもので
す。これは何も疎開に限つた事ではありま
せんが、疎開が奇縁で偶然にもこの様な機
會に出遭したことは或意味で有難いことと
思ひます。幼児の健康上のこと、習慣や躰
の上のこと、其の他色々の點で家内と協力
して行つて来たことが、其の主旨や努力の
如何に拘らず、結果が擧つて居つたかどう
か、行き過ぎではなかつたか等、悠つくり
獨りで考へて見て、今後子供を育て行く上
に、指針を定める貴重な資料と致したいと
思ひ、疎開のこの副産物的結果を有効に利
用したく考へて居ります。

× × ×

子供達を送り出した後の家の中は、文字
通り無味乾燥で、室内が俄に廣くなつた様
にさへ思ひますが、重荷を卸した様な気軽
さは、敵機何時でも來らば來れの餘裕と自

信を與へてくれる様な氣がします。

この稿を認めるすこし前、私は出張先の
關西某地で深夜に空襲警報に見舞はれまし
た。不氣味であるべきサイレンが疎開の前
子供と大塚仲町で聞いた警戒警報のサイレ
ンより遙に軽く耳に達した様な氣がしまし
た。そして、我乍ら可笑しい程落着きをも
つて適宜の待避處置をとる事が出来まし
た。これ等も申す迄も無く、子供達は安全
だといふ氣持が大いに働いて居る爲と思ひ
ます。

何から何までよく考へると、うちでは結
局疎開は無理ですから……とは廣く知人か
ら聞く言葉ですが、これは要するに現在の
生活に、御自分も家族も、餘りに執着を持
ち過ぎる爲では無いかと思ひます。

ハンブルグや、伯林での言爆が二・五坪乃
至五・〇坪に一彈の割合で行はれたといふ、
近代戦の實相を冷靜に見ることが出来れ
ば、國の寶である幼児をお持ちの方々は、
相當と思はるゝ障得も、思ひ切つて生活様
式を切り換へる事によつて乗り越えられな
い筈は無い譯で、問題は結局、懸つて最初
の踏切り方一つに決するものと思ひます。

私の親類でも、私達が口火を切つた様な事
になつて、乳幼児を持つ若いお母さん達
で、家を外に家族疎開された方が、引續き
數組にのぼりました。

(筆者は建築技師)

〇わが子と疎開 して―母

懐かしい幼稚園の先生方やお友達とお別
れして米澤にまゐりましてより、早や一ヶ
月近く経ちました。その間一度八月四日に
警戒警報のサイレンを耳に致しました。東
京に居りますれば、サイレンの鳴り終りま
せぬうち早くも全身の緊張を覚え、萬全の
用意に寸時の油断も出来ませぬのに、こゝ
でサイレンを聞ききました時には、直ちに燈
火管制の用意を致しましたのみでいたづら
に神経をいらだたせることなく穩かな心で
子供達を見守ることが出来ました。子供に
とりまして、米澤は祖父が幼時育ちまし
たところとして、かねてより關心を持ちあ
がれて居りました。それ故出發準備中も
早く行き度い早くまゐり度いと、大好きな

幼稚園にしばらく上れなくなりますつまらなさも忘れてよるこんで居りました。情、米澤の驛に着きましてから厚生車とて自轉車のついた人力車に乗り約十丁ばかり離れたところにごさいます家までまゐりました、子供は生れてはじめて乗る厚生車の珍しさにまづはじめに大よろこび致しました。午前四時頃驛に着きましたので、明方の清々しい空気を吸ひながら、東京に比べますと本當に質素な田舎家だの、青々とした田圃だの、見事な南瓜を實らせた屋根根だのを見ましてたゞもう目に新しいことばかりにて珍しく、一言も口をきかず外の景色を一生懸命眺めてまゐりました。

私共の今居ります家は數年前に建てましたものでございます。祖父の育ちました舊い家は、大正六年五月に起つた米澤の大火で焼けてしまひましたため形がなく、先祖代々傳はりました家に子供達を住まはせることの出来ませぬのを残念に思ひますが、この土の上で、「御祖父様も幼ない時にお遊びになつた。」といふことを知つて、子供も非常に懐かしく思つて居ります。この邊は東寺町と申し賑かな町からはづれて居りま

すため大變に閑靜なところでございます。家の東・北二面には田圃があり、西側には畑がございます。南は庭になつて居りまして、田圃の傍を流れる小川の水が入ります様に出来て居ります四坪程の池がございます。東寺町といふ町名の示します如く、近所はお寺の多いところでございます。

米澤は盆地と聞いて居りましたが全く其の通りで、四方をちらを眺めましても山でございませぬ。朝に晩に様々に變ります雲の姿に其の山々が遠くなり近くなり、又高くなり低くなり、齒色になり綠濃くなり、いつまで見て居りましても見あきるといふことがございませぬ。時には霧にて山がすっかりかくれてしまふことがございます。又雲に高い山がかくれ手前の低い山だけ見える時等子供は「お山のかくれんぼ」と申しま

す。米澤に着きました二日目の夕方、夕立のありました後、山から田圃にかけて虹の美しい掛橋を見まして、東京ではなか／＼見られない景色に大よろこび致し、早速、クレオンで虹のお畫描きを致しました。

す。河原が廣く、綺麗な水が淺くゆるやかに流れて居ります。土地の子供達はこの川で水浴を致します。そこへ時々まゐり、河原で遊びますのを、楽しみに致して居ります。

雀の元氣な囀りと、その雀を追ふ「ホーホー」といふお百姓さんの聲に目をさまし、大抵五時半から六時頃までには床をはなれます。冷い井戸水でしばつた手拭で、冷水摩擦をして洗面をすませますと、直ぐ洋服を着て外に出て、裏庭にあります鶏小屋にまゐります。十羽飼つて居りますが、留守居を頼んで居りますをちさんをばさんの丹精でよく太つて居ります。もうすつかり仲好しになりまして、一人でどん／＼小屋に入り、菓箱をのぞいたり、鶏を抱いたりして一しきり遊びます。畑から青い葉を取つて来て鶏にやりますことも楽しみに致して居ります。そのうちに、姉に負けずに早起き致しますお誕生過ぎたばかりの赤坊が外に出たがり催促致しますので、私が掃除や御飯の支度に忙しくして居ります間、おぶつたり抱いたりして、お庭のお池の鯉を見せたり、畑に出て唐もろこしの廣い葉に澤山

ついで遊んで居ります親指位の青蛙を見せたりして遊んで呉れます。朝食が済みますと、三丁程はなれたところにございます牛乳の配給所まで妹の牛乳一合を取りに行つて呉れます。手提に牛乳のびんと券とお金を入れてあります。今までのおつかひは、回覧板廻しか、物を近所のお家まで届けたり頂いて來たりすることか、郵便出し位で、お金を持つてのおつかひは米澤に來てはじめて致させました。自動車や電車等乗物の危険がございませぬしよるこんでおつかひにまゐりたがりますので牛乳取りの責任を持たせることといたしました。今までお金の勘定は少しも教へてございませぬでしたが、牛乳一合十三錢致しますので、これを機會に十錢玉は一錢が十枚集つたものであること、五錢玉は一錢が五枚集つたものであること、十三錢は十錢玉一枚と一錢玉三枚でよいこと、小錢が足りなくて、十錢玉一枚と五錢玉一枚と合はせて十五錢持つて行つた時には、一錢を二枚返して呉れること、お店屋さんから返して呉れるお金をお釣りといふことなど苦勞せずにお覺えしました。牛乳屋から歸りますと、朝のうちはお

晝描きや御細工や東京に居ります父等への御手紙書き等を致します。少し机に向つてからお晝の食事まで外に出て、池や小川で遊んだり、蟬のぬけがらを見つけたり、とんぼを捕へたり、なばきんと一緒になつて馬鈴薯掘りをしたり、隠元豆をとつて來て冬の用意に干す御手傳ひをしたり干したお豆をはじいたりして元氣に遊んで居ります。まゐりました頃はこの家でも麥打をして居りましたが、摺古木の太い様な棒を手にして板の上で麥の穂を「トントン／＼」と叩くとばら／＼と實が落ちますのが面白く、麥打ちがはじまりますといつもそのそばでじつと見て居りました。時には町までのおつかひについてまゐります。十丁以上どうしても歩かなければまゐれませぬので、だん／＼に足が強くなつてまゐりました。午後は一時間位赤ん坊と一緒に晝寝を致します。お晝寝から起きますと晩の食事まで又外で遊んだり妹を遊ばせたり時には御本を讀んだり致致します。夜は大抵七時半か八時頃までにやすみます。晝間元氣に遊びますので、枕につきますとすぐ眠り、朝までぐつすりとよくやすみます。日中は

東京と大差ない位お暑さが酷しうございませぬが、夜分冷えますので晝冷えを致さない様特に注意致して居ります。

清い空氣を吸ひ日光を思ふ存分全身に受けて毎日戸外で遊んで居ります故か、もう早や土地の子に負けない位色が黒くなりました。食慾も増し好き嫌ひはいはなくなりましたので、顔が丸く肥つてまゐりました。

當地へまゐりました時には子供の背丈の半分位でした稲が八月になりましてからだんだんと穂が出揃ひ、ぞん／＼伸び、今では子供の背一杯位になりました。暑い日盛りから夕方暗くなるまで田の草取りをして居るお百姓さんの姿を直ぐ縁の先に見て、田を荒しに來る雀を防ぐためか、しや唐傘や棒を田に立てたりすることを覺えました。

又朝早く夜明けと共に田圃に立ち「ホーホー」と雀を追つて居るお百姓さんの眞剣な姿も見ました。そしてお米が出来るまでのお百姓さんの苦勞がぞんなに大變であるかを實際に眼で見つて子供に納得出來ましたことは大變尊いことと思つて居ります。まだこれからもこの様に東京では得難い尊い體驗を澤山、子供に致させることが出來

ますことを楽しみに存じます。私共の宅は町はづれでございますため、お醫者様の便が悪うございますので子供達の健康には東京に居りました時に倍して注意致して居りますが、お蔭様にて只今までは少しも障り

疎開地に於ける子供の生活

私の子供は六月二十二日に福島縣平市の母方の里へ疎開しました。子供は里歸りのつもりで、よろこんでゐます。

子供は疎開していくと直に私のところへ端書をかきはじめました。二日か三日おきに一枚づゝ端書がきます。田舎で御馳走になつた珍らしい果物、田植、田の草取り、人形遊びの繪など端書全面に描いてゐます。このころでは文字を書くことをおぼえてきて、繪は端書の半分にかき、下の半分には鉛筆で「オトカサン アツイテセウ」とか「コレハオイシイモデス」とか書いてくれます。近頃は端書が容易に手に入らないから畫用紙や包紙などに書かせてまとめて

なく元氣に致して居ります。

これから先もお國のためこの米澤で子供達を、皆様の御期待に背かぬ強い日本の子に育て、まゐり度いと覺悟を又新に致して居ります。(謙三氏夫人)

阿 部 廣 司

送らせるやうにしてゐます。疎開してはじめて、子供は便りを書くといふことに興味をもつやうになりました。そのため、繪を畫くことも、文字など書くことも獨りです。手になつてきたやうです。近頃では先生や、兵隊さんへも端書をさしあげるやうにさせてゐます。

次に疎開幼児の親として感じたことは幼稚園教育の有難さです。疎開地の子供の生活は幼稚園生活の延長です。子供は御飯ごき食卓に向へば必ず兵隊さんありがたうと言つてからいただきます。幼稚園で羨けていたといふ作法を、里へ歸つて實踐してゐ

ます。

子供の遊びも幼稚園で遊んでゐたそのまゝをやつてゐます。このころは幼稚園生活を發展させる意味で、幼稚園で作つたものを想ひ出させて作らせてゐます。繪は氣がむけは何時でも描けるやうに藁半紙を與へてあります。この間歸つてみたら作品は皆んな机の上にならべてあるし、繪は神棚の下に貼りつけてありました。よく田舎の子供は習字や繪を神棚の下に貼る習慣がありますので、子供もそれにならつたのださうです。

唱歌は田舎では新しいものを教へることもできないので、散歩に出ても、庭に遊んでゐても、幼稚園で習つた唱歌遊戯で楽しさうです。この唱歌遊戯は子供としては一番自信あると見えて、疎開先のお友人にもやつてみせます。身は幼稚園を離れても、子供の心はいつも幼稚園で育つてゐるやうなものです。また幼稚園の児童であるといふほこりが日々の生活の隨所に見られ、又どんなにか子供を力づけてゐます。

私の子供は脚が人より弱い子供でありま

すから都會の舗装道路の上を十分と歩けば
疲れて仕まひます。田舎の田圃道に出ると
三十分位歩いて疲れなうつたへません。
毎日田舎の田圃道で歩くけいこをさせてあ
ますが、この子供には疎開といふこと一
般と健脚になると思ひます。

○
この間は三日ばかり子供と遊んでしまし
た。三十分ばかり田舎道を歩いて私の生家
へつきました。庭にトマトが赤く房になつ
てゐました。トマトの房を持つては不思議
さうにみてゐました。

井戸水を汲んで手を洗はせました。「井戸
水はどうしてつめたいの」ときかれました。
水道の水ばかり使つてゐた子供には當然で
る間であります。厩のところに行つて馬が
食物を食べてゐるところを珍らしさうにみ
てゐました。「馬は尻つぼを振りながらたべ
てゐるね」と言ひました。この日は子供と一
緒になつて遊ぶつもりで、小川へ出て網で
魚をすくひに行きました。なまづの子やふ
ながたくさんどれました。なまづをみては
おたまちやくしと言ひ、ふなをみては金魚
だと言つてゐます。なまづとおたまちやく

しとはうちがひますが、金魚とふなどは
うちがひますが、家に歸つてから勉強し
ました。

だんだん魚をすくつてゐる中に、子供は
「お父さんこゝをすくひなさい、おそをす
くひなさい」と言ふやうになり面白い魚と
りなりました。

○
心になにして疎開地の生活は遊んでゐる
中に自然に親しみを持つてきて、いろいろ
と子供ながらに注意して自然をみるやうに
なります。

○
お友人のことについては特に心配したの

鳥取に疎開して

私共疎開致しましたのは三月末でござい
ましたか、土地に慣れぬ故か生活の變化が
又それ以上に母親の不注意の爲でございま
せうか六歳四歳三歳の幼児が順々に大腸カ
タル、肺炎等の大患に罹りまして、その度
にこの子を死なせるのではないかと不安に

ですが、親が心配するほどでもなく子供は
名も知らない友人を幾人もつくつて仕まひ
ました。これも幼稚園教育のおかげで、友
人と遊び方ができてゐるため、仲よく遊ん
でゐます。今では田舎の方言になじむとい
ふことがなくなりました。夕食の時など、

「、、、さんはこんな言葉を使ふが、そ
んなこと言ふものではないね」など言ふこ
とがあります。うちの子供は唱歌遊戯や人
形作りなどよろこんでやるので、却つて近
所の子供から大事にされて遊んでいただけ
ます。(筆者は東京女子高等師範學校訓導)

畑村 春子

怖きながら看病致しました。この土地には
幸にお醫者様がありますのでございませうが
何しても東京に居りましたようなわけには
まいりませんです。その爲はつと心を安め
る暇もなく子供等の顔色や便の工合や寒暖
の度や、種々しつゝこい程注意を興へなが

ら毎日を生活してまゐりました。

此處は純農家の部落でございまして、約一ヶ月半前に田植が終りました。家の前には「キテ」と申します三尺程の巾の用水の小川が水を満々とたゞへて急流をなして流れ

て居り、毎年一人や二人の幼児が犠牲となつてしまふ由でございまして、私のお守の役目は一層重大となり、妙子六歳洋太郎四歳安子三歳の他に當家にも四歳になります通子といふ女の子も居り、幼児四人のお守りを致して居ります。未だ水浴びもさせませんが、いよゝこの土用の暑さが續きましたら、監督付で子供の好きな川で少し遊ばせてやり度いと存じます。今年には雨が少く川下の方面では田植が困難と申しますのでこの「キテ」の水も「通し水」と稱して一晝夜とか十二時間とかの間はこの水を川下へ澤山通して上げますので、この小川が七八寸位の深さになります。すると子供等はパンツ一枚になり、大喜びで入ります。近所の子供はドセウ、小鮎、タニシ等をすくひます。先日來暑さが續き、この「通し水」がありました翌日、朝から妙子がゴロゴロ寝轉んでダルイ〜と申しますので、

又もや悪い病氣かと冷やりと致しました。が、別に熱も無くよく考へて見ましたら、前日この通し水の日には暑さにまかせて川に許り入つて居りましたので、きつと體がダライのだらうと想像いたしました。

子供等の言葉の變化も面白く、妙子は殊に土地の言葉に慣れ、近所の子供等が遊びに來ても平等に言葉を使つて遊んで居ります。又反對にこゝの通ちやんは「東京言葉」が泌みて來て他所の方から「通ちやん東京言葉が上手になつたのね」と言はれて居ります。

服装の點ではどうしても手不足やら、絲布等の不足の爲都會よりも穢いのでございしますが、この夏から秋も過ぎ冬に入りますと、若し私共も冬までも疎開して居らねばなりませんようでしたら、この土地の子供等の様に、綿の入つた和服類でない山陰特有の雪が多く、濕氣の多い土地故、洋服では、寒からうと考へて居ります。この邊では綿の入つた着物などでも普段着は汚れても解かずにそのまゝ丸洗ひにして着せて居ります。

食物は私共は配給米を頂いて居ります。

一日の割當が六・四四合でございまして、いくらどうしても足りませず、一日の割當を八合にきめて（割當との不足分はこの家で貰つて居ります）。一度或は、二度お粥で一食のみ御飯にして居りますが、子供等の食慾はなか〜旺盛なものには困つて居ります。しかしこゝへ來ての當分の間のお客さん扱ひの期間も過ぎて、毎日お粥を頂いて居ても東京で配給の鍛錬をされて居りますので、野菜が少し手に入りますので、東京の方々のことを思ひ勿體ないと思つて暮して居ります。

田舎では時々種々の行事がございまして、私共の経験したのでは「卯月八日」庚申様「笹巻」「八幡講」「シロミテ」「辨天講」等と申しまして天地、田畑の神様への祈りや感謝や又お祝ひや慰安の爲に、その時によりお餅だとかその他煮物をして子供へ致します。その時は我々もお相伴にあづかりますので唯一の楽しみでございまして。先日は氏神様の御縁日の夕方「御籠り」を致しました。これは田植の後の祈念と感謝の爲の「シロミテ」で、御飯でお結びを作り、煮物をして「キリダメ」といふ大きい重箱に入れて、

第八十五帝國議會開院式に當り賜はりたる勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク朕カ外征ノ師ハ勇戰奮闘隨處ニ勁敵ヲ破リ大ニ威武ヲ宣揚セリ而シテ大東亞ノ建設ハ駸駸トシテ進ミ友邦トノ締盟モ亦益々固シ朕深ク之ヲ懌フ然レトモ敵ノ反抗愈々熾烈ニシテ戰局日ニ危急ヲ加フ皇國カ其ノ總力ヲ舉ケテ勝ヲ決スルノ機方ニ今日ニ在リ卿等宜シク衆ニ先ンシテ憤激ヲ新ニシ團結ヲ鞏クシ奮テ敵國ノ非望ヲ破碎シ以テ皇運ヲ無窮ニ扶翼スヘシ朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル議案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭セヨ

地方長官御激勵の御言葉

戰局危急皇國ノ興廢繫ツテ今日ニ在リ汝等地方長官宜シク一層激勵精衆ヲ率キ官民一體戰力ヲ物心兩面ニ充實シ以テ皇運ヲ扶翼スヘシ

右二つの勅語竝に御言葉を拜し、現戰局を深く御軫念あらせらる。天皇陛下の大御心を拜察申し上げて誠にかしこき極みである。われ等は力の限り、各々の戰場に邁進することを誓ふのである。(編輯子)

箸、小皿、薬罐等を持参してお詣り致しました。村の人々も矢張り集まり、各自が夫夫禮拜して後かヤ／＼と賑やかに御馳走を頂いて歸宅致しました。又近く「釜焼」とか「番盆」とか「七夕様」とか来るさうで、子供等もその行事を楽しんで待つて居ります。

これ等は楽しい生活でございますが中には中々不自由も多く子供等も東京を戀しがる時がございます。「オヂイちゃんヤオ父ちゃん今頃御飯カシラ？」等とさきまます。

鳥取市へは三里程離れて居りますが、市には幼稚園もあるとかでございますが、それよりも早く東京へ歸つて幼稚園へ通はして頂けるようになる日の一日も早からんことを心から念じて居ります。

しかし「一度び警戒警報が発令されると子供等が疎開してゐるのが何より安心で有難い」といふ残留組の父や主人から便りがまゐります度にこの疎開の責任の重大を深く感じて奮ひ立つて居ります。

百姓家の忙しさが目の前にチラついて落付いてお便りが出来ませす、本當に無難な文で恐縮でございます。

(筆者は東京高等蠶絲學
校教授畑村又好氏夫人)

海の遊戯

福田 静 子

或日の遊戯の時間はこの頃最も關心をもたれる海を主題として、海に關聯ある「波」「舟」「島」の遊戯によつて、全身運動をすることにいたしました。

波

立つたまゝ、或は坐つていろ／＼な波の運動をいたしませう。

「小さな波」

○兩手を前に出し、(上體を共に搖り動かしながら)少し高低をつけて左右に動かす。

○兩手を横に擴げ、軽く上下に振動させながら體前にもつてきてそろへ、又動かしながら横に開く。

「大きな波」

○太平洋の山の様に大きな波は、兩手を揃へて一方の横から頭上にあげ、踵をあげて、兩手を出来るだけ高くして、反對側の横にぞすんと下す。

○兩手を横に下し、「一」、「二」で踵をあげ上體を後にそらして兩手を後傾にあげ、「三」で上體を前屈すると共に、兩手をかぶさる様に前下に下す。

この波の運動は、海に關聯した曲に合はせて、一同圓くなつたり、横に並んだり、又は自由に散つた隊形で、先生と一緒にいた

しますが、先生の動作をよく見てゐて、先生が小さな波の時は、みんなは大きな波に、又先生が大きな波になる時は、一同小さな波の眞似をするといふやうに、先生と子供達とは反對の動作をすることも面白いと思ひます。

波くゞり

みんなで圓形を作り、連手して波の様に前後に振ります。

誰か最初の人をきめ、その人から一人づゝ順々に、圓くなつてゐる人々の間を縫ひながら前後にゆれてゐる波の下をくゞり抜けて圓を一廻りします。

元の位置にもどつたら次の人が同様にしてくゞります。波をくゞる時は、體を前屈して小さくなり、立つてゐる人につつからない様に上手にくゞりませう。

漕舟ぎ

二人漕ぎ

上體を前屈すると共に掌を握つて兩手を前出し、上體をおこす時に兩手をぐつと體前にひきよせて舟を漕ぐ運動をいたします。坐つて漕ぐ場合には、腰を下して兩足を揃へて前出し、立つて漕ぐ時には、足を前後に開きます。横に漕いでゆく時には、上體を前屈すると共に、片方の足を横に開いて兩手を前し、上體を起す

と共に他方の足をひきよせて揃へ、両手を體前にひきながら、横にすゝみます。

「二人漕ぎ」

二人づゝ、向ひあつて腰を下し、兩足を前出して兩手をつなぎ、一方の人が體を後にひいて他方の人を自分の方にひきよせ、次は反對に向ふへ押しかへします。「一」、「二」、「三」、「四」の呼稱に合はせて、力いっぱい漕ぎませう。

この舟漕ぎ運動は、音楽に合はせながら自由に散つた隊形、一列縦隊の隊形、圓形等でしますが、一人の審判官を前に出し、「用意」「ドン」の合圖で、舟漕ぎ競争とし、うまく漕げる人を、選んで次の審判官にする等、いろ／＼に取扱ふことが出来ます。

潜水艦

いろ／＼な物真似あそびをした時、「今度は潜水艦になつてみませう」と申しましたら、とたんに一同、體を伏せたり屈めたりして低くなり、面白い恰好をして動き出しました。その中から一つを選んでみませう。それは、體をつゝと前屈し、片方の手を頭の前にもつてゆき、人指ゆびを潜望鏡として頭上に突きあげるのです。みんなもこれにならび、整列して海の音楽にあはせながら、室を動き廻ります。途中で音楽が止まりましたら、頭上に突き出した潜望鏡をひっこめて、同時に體を小さくし、床の上に伏せて暫く動かない。又音楽が始つたら勇しく出動いたします。

又、或る潜水艦は床の上に仰向けになり片方の手を潜望鏡として垂直につきあげました。この様に床の上に仰向けになつて、兩

足で床を蹴りながら、背中まで進んでゆきます。今度は、音楽が大きくなればそのまゝ進み、小さな音になつた時には、舉げた手を下して靜止することいたします。

島とり

子供がのれる箱を五つ六つ用意し、床の上に並べて海の中の島をつくり、床に落ちない様にこの上をうまく渡つてゆく運動。

箱は高低があつてもよろしうございます。

適當な間隔を置いて一列に並べたり、間隔に長短をつくつて、あちこちばら／＼に並べたりいたします。

貝拾ひ

(音楽は海や波の唱歌の曲を任意に選び、途中で隨意に大きな波の音を出して下さい。)

波と子供の二組に分れ、波の組は横に一列に並んで連手をし、子供の組は、みんな散り／＼になります。

音楽がはじまりますと、波の組は、連手を前後に振り、散つてゐた子供達は、波の側まで靜かに歩いて行つてしやがみます、大きな足音をたてると、貝が逃げてしまひますから、出来るだけ靜かに、近寄つてくることにいたします。それから、めい／＼砂を掘つたり、貝を拾つたりする動作をし、音楽が突然大きな波の音に代ると、子供達は一齊に逃げ出し、波になつてゐた人は、手を離して子供達を追ひかけ安全地域(はじめに定めておく)に、は入らない中に擱へるのです。安全地域に既に入つた子供は擱へることは出来ません。(筆者は東京女高師附屬幼稚園保母)

紙芝居と幼児

上 遠 文 子

幼児は談話を好むと同様、談話を繪にした紙芝居は特に幼児に好感を持たれる。私共としても自由遊びに飽易い年少組の保育案に紙芝居を折込むのは一つの考案として用ひてゐる。一組が、「紙芝居だ、お入り」等と呼ぶとお隣りの組も又お隣りの組も皆が集つてしまふ盛観で、如何程紙芝居が幼児達に歓迎されるかはかり知られる。數年前、街巷で見た紙芝居の印象の深い私共はともすると紙芝居は品の無もの、あまり教育的で無ものとの感を抱いてゐたが、今では大いに活用してゐる自分である。

朝いきなり紙芝居してと注文を受ける事もあり、一度見たものを幾度演じて、見たからつまらぬとは言はずに熱心に觀覽する様子を見ても、あんなに好きなら何か新しいものを作つてあげたいと思ふのである。その反面あれ程興味ある紙芝居より受ける影響は？、餘程その題材選擇に考慮を拂はねばならぬ事を感じさせられる。過日、私の組(年少組)の男子の自由遊びに大狼ごつこがはやり始めた。男の子五六人組になつて大狼の眞似をして側で飯事をして遊んでゐる女の子達の所へ行つては、アム〜と云ひつゝ、大きい口を開けて食べる眞似をしてゐる女の子達は嫌がつて言附に來た。それから數週間と云ふもの何かにつけてふざけるにも「アム〜と食へてしまふよ」と言ひながら遊んでゐる。

これと云ふのもその二三日前「三匹の小豚の紙芝居をした。それには大狼が小豚を食へ様とし臺詞にアムアム〜と食へてやる」と云ふのが、それを眞似てゐるので、これ程直接に響きもし、眞似をするには餘程その内容も言葉つかひも考慮せねばと思つた。一面此機會を利用し、よき精神好き癖も出来るのではないかと考へた。神様のお話は年少組にはお話として言葉のみでは中には何が何だかわからぬ幼児も多い。その點これを紙芝居ですれば印象的も理解も効果的と信ずる。この様な譯で、私共の手で書いたもの、幼児の手で作りましたものを用ひるのが一番理想的であるかと考へ作製してみた。私共で作製する場合第一の問題が紙の問題で、やはり相當大きい方が好いので最小限度八ツ切の大きさとする。勿論廢物利用でお畫かしてある裏を使用したりする。薄紙より厚紙で、薄紙の場合には厚紙へ張ければよい。

文章を讀みそれを解易き様繪にて表現するのであるが、その時細かく區切つて表現するより印象的部分を連續的に抽出してその間は言葉で連續させる。

畫面は小さいものまで細々と表現するよりもその場の特徴を把み、あつさり、人物は大きく印象的に畫く事が必要である。

次に色彩は鮮明なものを歓迎する。暗色ばかりの使用は比較的

さげ、明色とも申しませんが、これを多く使用し、畫面を美的に作製する事も必要である。水彩の方が出来上りは綺麗だがクレヨンでも濃色な色彩にすればよい。人、物の區切は明かにしなないと畫面が引立たぬのも一つの注意で、輪廓を黒の線でほどこすとこの事は解決する。裏面には御存知の様にその説明を書く。

一方法として張繪の紙芝居にしても興味深く、又畫面は背景のみにして、人なり物は別紙を切抜き割箸等短い棒の先にはりつけそれを動かして御芝居する様なのも變つてゐて面白い。手はかゝるが、年長組で共同製作として誘導的仕事として保育案に加へても面白い事と思ふ。

空襲を受け壕の中に數時間過さねばならぬ折、幼児を飽きさせずその數時間を守り抜くのも保姆の手腕を待つ。その折には何か幼児の好むものを用意する事を考慮しておかねばならず、紙芝居もよりよき資料であるゆゑ遊離用具の一つに加へて用意しておきたい。

以上の様な理由で私としても大いに紙芝居を利用し、談話を上手に話こなせぬ自分としても幼児自ら、下手な自分の話よりも興味持ち、印象的でもあるゆゑ、此頃では何かと紙芝居を資料として活用してゐる私である。

そして數年前の惡印象の紙芝居も自分で破棄した。

(筆者は東京女高師附屬幼稚園保姆)

○お願ひ

○本會へ振替にて御逆金の場合、振替料、拾錢を別に御加算下さるやう度々申し上げましたが、未だ御加算のない方が多くございます。この場合料金は、御送金下さつた會費の中より申し受けて居ります。

○從來特別行爲税はいたゞいて居りませんでした。この四月から特別行爲税相當額を申し受けることに致しました。

○又送料が、この四月より貳錢になりましたから之も申し受けることに致しました。以上御諒承下さい。

昭和十九年九月

日本幼稚園協會事務係り

決戦下の幼児保育者諸君へ

— 陣友 音信 (二) —

倉 橋 惣 三

○戦時の新しい職域は素より、従来からの職域にある人と雖も、此の決戦下、平時と同じ心で事に當つてゐるものはありません。一見、常に變らぬさまに行はれてゐる保育事業も亦、大にそうでありませぬ。たゞに心構へだけが同じでないのみならず、事情も條件も勤務の實際も、決戦下容易ならぬ變化があります。その意味で、慰問といふやさしげなことでなく、又激勵といふきびしい言葉でもなく、眞に心からなる音信を、決戦下の陣友諸君に、送らずにゐられませぬ。

○決戦下、皇國の幼児をその心身において護らなければならぬ必要は急激に増大しました。敵の空襲に備へなければならぬ防空都市において、幼児疎開の必須の叫ばれるのも、眞に必要な場合幼児の集團形態の休止の指令せられるのも、その最も顯著なあらはれであります。共に第二國民の貴重なる生命保護のためには已み難き必要であり、積極的に執られなければならぬ指導方策であることは論を俟ちませぬ。そのためには、幼児保育者の従来通り

の任務振りには變化を來させようとも、眞に幼児を護るために、その推進と共に、新しい参加・協力が意圖せられなければなりません。即ち幼児疎開の適切なる方法、疎開後の指導、又集團形態休止後の諸問題等、皆之れ幼児保育者の關心であり憂慮でもあるのであります。しかも之等の研究事項は次の音信の機会に譲り、今日は、今現に身を幼児保育の任務においてゐられる陣友諸君への心の音信に限りませう。何はともあれ、常在戦場のお互同志として。

○現に幼児はまだ澤山都市町村に居ります。その保育に當つてゐられる方々は、幼稚園の方々、保育所の方々、戦時託児所の方方でありませぬ。その施設の種類は異つてゐても、幼児保育たることに、殊に戦時保育たることに別はありませぬ。先づ戦時託児所が特に戦時的要請に基いて起つたものであることは申すまでもなく、その開設主旨の至當緊急なことも申すまでもありません。即ちその開設主旨の特色は受託幼児の家庭が戦争への直接勤務者で

あることにあります。わけても母が軍需増産のためにその子の保育の時間をもたない場合、その子のために母のために、受託保育を必須とするのであります。戦争の緊急要員として充分に働いて貰ふために、その子の終日保育を引受けることは一日も忽せに出來ぬことであります。但しそれが、幼児達の生活保護に止まらずして教育保護即ち保育でなければならぬことは忘れてなりません。次に特に戦時と銘をうつと否とに拘はらず、社会的に必要なあるところに行はれる常設乃至季節保育所の重要さ、殊に戦下に加へられてゐる重要さは言ふまでもありません。必ずしも戦時において新たに起つたのではないために、特に特殊施設とされないだけで、戦時下戦時事業でないものはないのであります。更に此の意味において、最も特殊施設の感を與へないものは幼稚園であります。戦時下の幼稚園が戦時幼稚園であること、あるべきことは素よりであります。いづれにせよ、いづれも皆、戦時下に戦時下幼児の保育の緊要任務に當つてゐるのであり、私どもの常に一列にその勞を多とし、その精神に深き敬意を表してゐるのであります。

○教育施設と厚生施設の論など今更めて申しません。たゞ、幼児の保育に限りこの二つが離れて存するものでないことを、萬一離れたらいづれも眞の保育でないことを一言して置けば足りません。更にまた、戦時下の保育施設に特に厚生の方を重視しなければならぬことと、それと同時に、教育の方面の一層重視されなければならぬこととを言ひ添へて置けば足りませう。

○戦時保育の同僚諸君の勞を、特に多とし密におねぎらひませす

にあられないのも此の點にあります。そのために、幼稚園もその保育時間を延長して早朝より夕刻に至る必要がありませう。幼児の身邊の世話から衛生榮養の注意まで一段と周到でなければなりません。幼稚園は幼児の心の教育の場所であるなどと濟ましてはゐられません。託兒所も亦、その家庭生活と共に家庭教育の缺陷の大を思ふにつけて、その保育上の任務を常に厚生方面に止めてはゐられません。幼稚園の保母さんも託兒所の保育婦さんも、戦時下の勞や實に同一に實に多大と申さなければなりません。私はいづれの方をも差別なく尊敬して已みません。

○但し、保育者の職域よりは、何んといつても、幼児を相手として、その靦顔る和かに、柔かでありませう。戦時下の他の勤務に比して、その嚴しさも劇しさもないやうに見えます。また或は多少そうした實際もあるかも知れませぬ。しかしそれは、幼児といふ相手に即しての側においてのことでありまして、戦時下保育必須の信念と戦時下保育報國の誓願と、即ち保育者の精神と意氣との側においては、決してゆるやかな日々々々ではないのであります。殊に今日の條件下においてそうであります。それを最もよく知つてゐる一人として、私は自らをあなたの方の友として自認してゐます。心なき人が何んと言はうとも、此の同僚からの音信を受けて下さい。

○職域奉公といふことは、恐らく或る制限内においてのみ通用されることかも知れませぬ。事態の平常を失ひ、必務の切迫を極むるに及んでは、職域も亦、それに應じて轉廢せられなければなりません。私ども亦、より緊急の國家の要請に應じては新たに起た

たなければなりません。しかし、その覺悟をしつかりと忘れない上において、今の私どもは、自己の職域を以て國家、殊にその決戦體制の一翼に盡し得ることを感謝しなければなりません。私どもは、嘗て何んの主旨と精神とを以て此の職域に入り來つたかは、どうでもよろしい。今日は、この決戦下の奉公の一重要職域として、新たにこゝに身を置かせて頂いてゐるのであります。

○形式はどう變りませうとも、方法はどう變りませうとも、保育奉公の實の存するに信する限り、私どものこの職域奉公の心は變りません。古い理念や昔の理想の追求者としてとなく、此の新らしい國家の現實に存する奉公の誠を以て、どこの一隅でとも、どんな不完全な設備の下にあつても、國の大切な幼兒をその心身一體において護り育てつゞける貴い任務に専心させよう。事情と條件とは、どの職域でも苦しくなつてゐます。今日の保育は昔日の「楽しい」保育ではありません。しかもその苦しい中にこそ「戦ふ保育」があるのであります。

○私は、全國の戦ふ保育の同僚諸君に、その老勇將にも若武者にも、同職域同奉公の友人として、新たな堅き信頼を捧げ、常に常にその御健康を祈つて居ります。

○たゞ、この音信の筆を廻くに當つて、私の頭からどうしても消し難いのは、戦時の或る事情のために、心ならずして、保育事業から暫らく身を轉ざられ或は退かれた友人諸君の胸中でありませぬ。その人々が、殊にその中でも若い人々が、今も尙保育の道を慕ひ、保育奉公の一念を捨て兼ね、情を傾けて、時の歸來を俟たるゝの訴へを聴く度びに、私は斷腸の思ひとは此の事かと思はざるを得

ません。その中には、私の口から初めて保育の貴さを聴き、私のすゝめによつて保育の感激に身を投じた人々も少なくありません。私はその人々に何んと音信させようか。言ふところを知らないのであります。

○更に特別の音信を差上げなければならぬのは、北九州、西九州、山陰、西中國の幼稚園の方々へであります。空襲の時刻は夜間或は夕暮であり、又多分幼稚園はお休みのところも多かつたと思ひますから、幼稚園での戦災を受けられた方はなかつたと思ひますが、それにしても、先生方常々の御心勞の一段と深いことをお察しせずにはられません。身を以て幼兒を護る覺悟は全國の幼兒教育者一統であります。既に空襲を経験せられた土地の方々へこそ、御見舞——そんな平時の如き生やさしい言葉でなく、力を籠めて戦線への御慰問状を呈します。御健闘と御安泰とを祈つて已みませぬ。(八月二十二日)

艦上戦闘機

「日本幼児號」獻納

皆さまに御報告申上げてお喜び願ひます。

一 金九萬八千圓也 「日本幼児號」獻金

七月三十一日午後二時海軍省に出頭海軍次官岡海軍中將閣下に面會、右の獻納手續をいたしました。そして此の獻金の發意、主旨、殊に全國幼稚園及び保育所の熱心な御協賛と努力、わけでも幼児の可愛らしい純眞の愛國感情を委細申上げたのに對し、次官は大層よろこばれ、醜金に與つた多數の幼児の純情を嘉納して、立派な戦闘機を造り前線に送るべきこと、さうぞ皆さんに宜敷きのこととでありました。それから別室で栗原海軍大佐に是非「日本幼児號」を命名せられたいことをお願いしたに對しては、まことにいい名です。一番勇しい艦上戦闘機にしませう。海軍大臣から感謝状を差上げる筈ですが、いづれ出來上りの上獻納式の日に差上げます。その日は更めて御案内申上げますと申され、左の受領書を下さいました。

倉 橋 惣 三

第 7514 號 日本幼稚園協會
代表 倉 橋 惣 三殿

金九萬八千圓也

艦上戦闘機(日本幼児號)

右國防充實ノ主旨ヲ以テ寄附相成受領候也

昭和十九年七月三十一日

海軍省經理局國防獻金出納官吏

海軍主計少佐 山 内 伸 穂

當日は幼児を同道の考へもありましたが、時節柄控へまして、此の擧の一番初めの提議者佐賀縣の一人唐津幼稚園の吉富園長、最も多額の醜金に御盡力下さつた栃木縣幼稚園聯合會の伴副會長佐藤幹事及び本協會の及川幹事と倉橋

五人で参りました。尙受領書宛名の代表が便宜上倉橋になつてゐます。こゝは御諒承願つて置きます。

昨年夏の保育講習の時、閉會式の席上會員皆さまに此の事をお謀りし満場の拍手を以て賛同を得、その十一月の

幼児の教育誌上に計畫提唱、第一回の總收金四萬八千九百四拾四圓七拾六錢を同誌四月號に報告、飛行機一機は金八萬圓以上を要する旨を以て更に第二回の提唱をいたし、本年六月末日ノ切を以て此の金額に達したのであります。第二回御寄托者及び第一回の總合計寄托者の報告は別欄の通りであります。如何に遠隔の地からわれらの提唱に共鳴協賛して下さつたことでせうか。感銘にたへないのであります。

さて、此の醜出幼児は第一、二回を通じて日本幼児全部ではありませんが、「日本幼児號」の名には、日本の幼児全部の愛國の純情を籠めたいと思ひます。醜出して下さらなかつた方は通知の至らなかつた爲で、提唱者の手配の不備をおわび致し

(日一月八)聞新日朝

日本幼児號

昨年十月、日本幼稚園協會(東京女師高内)が「日本の幼児のまゝこゝろで飛行機を一臺お國にさゝげようではありませんか」との運動を起した、童心のもえたつところ、たちまちに内地、臺灣、朝鮮はいふに及ばず、滿洲、北京、青島などの邦人幼稚園までも力をあはせ、千餘の保育機關から九萬八千圓があつまつたので三十一日協會の倉橋主幹らが海軍省をたづねて獻金した、名前は「日本幼児號」にしてほしいと同協會から申出た。

ます。しかも、醜出の有無に拘はらず、「日本幼児號」は全國幼児の心の獻納であります。空を仰いでボクラの飛行機、ワタクシタチの飛行機を喜んでいただきます。

艦上戦闘機「日本幼児號」成るの日、いつこの洋上にその

勇姿をあらはし、その勇闘をすることにせう。日本海軍の一機は敵海軍の十機百機に當り、この一機よく、敵の戦闘艦を轟沈せしめ、大航空母艦を撃沈せしめることが出来るでせう。これから戦闘機が大戦果を擧げたを聴く毎に、この日本幼児號が立てた戦功を思ふことにせう。斯くて、今まで直接には戦争に参加することのなかつた幼児が、この機を通して堂々に参加するので。日本幼児の魂の籠る此の戦闘機、征け征け、うんざり戦つて下さい。

それにしても、此の九萬八千圓が成るまで、各地保姆諸君に幼児達を、こんなに強い熱意のこゝろであつたでせう。

その並々ならぬ、そしていろ／＼さま／＼の御苦心の程は軍海次官にもお話ししておきました。殊に保護者、一般の人の熱心も感謝すべきで、日光製銅所幼稚園で、工務員諸君の退出の時間街上に幼児が立つて募金した時、二日間で二千圓餘に達し、醜金の人々が一々帽をさつて、有り難う結構のこみです。幼児達に挨拶してゆかれた光景などは、

「日本幼児號」獻納

東京女高師内日本幼稚園協會主幹倉橋惣三氏等は三十一日午後二時海軍省を訪れ岡次官に面會、全國幼稚園の子供さんたちがはい、赤誠をこめた「日本幼児號」獻納（九萬八千圓）の手續を執つた。

この九萬八千圓は全國の園児が昨年秋から同協會の肝煎りで家庭に「飛行機獻納貯金箱」をこしらへたり、褒美などを貯めたりしたものである。

その一例として目にしみるものがあります。その他一々例を挙げたらきりがないでせう。そして私達は此の一機獻納の類に達したこみを喜ぶと共に、一番大切なこみは醜金額の多少ではなくて、此の舉によつて幼児の愛國感謝を——戦下保育を實踐的に行ひ得たこみであります。この舉のため、幼児は如何に戦闘への關心を加へたこみでせう。如

何に勝つために祈る心を深めたこみでせう。

空の父空の兄らを仰ぎつゝ

日本の幼児、飛行機を獻す

私の感激であります。（昭和十九年七月三十一日）

左の記事は八月一日朝日新聞仙臺版に掲載せられたものを仙臺市ホサナ幼稚園の先生が「日本幼児號」成るの悦びを寄せられると同時に送つて下さつたものです。（編輯部）

日本幼児號

空の戦ひに幼児までも、こんなに一生涯命になつてある——昨年十月、日本幼稚園協會（東京女高師内）が「さあ、日本の幼児のまごころで飛行機を一臺お國にさげようではありませんか」との運動を起した、童心のもえたつところ、たちまち内地、臺灣、朝鮮はいふに及ばず、満洲、北京、青島などの邦人幼稚園までも力をあはせ、千餘の保育機關から九萬八千圓があつまつたので三十一日協會の倉橋主幹らが海軍省をたづねて獻金した。

この金は、幼児がたとへばお母さんのアンマをして頂いた三錢とか、病院へ薬をとりに行くお使をしてもらつた二錢とかをためたり、海岸地方では松葉をあつめて「飛行機をつくるんぞから」とお母さんに買つて頂いたりして貯へたもの、父兄や幼稚園の先生の協力もあるが、大半は幼い子供たちの純一なこころを愛くるしい手で築きあげた九萬八千圓である。海軍省の係官はこの話をきいて深く感動し

「つばに艦上戦闘機が一機できますよ、全國の幼児諸君、ありがたう」と心からお禮をのべられたが、飛行機の名前は「日本幼児號」にしてほしいと同協會から申出た。

日本幼兒飛行機獻納金受托報告 (第二回)

○掲載順は到着順。

○幼稚園とあるは、幼兒、職員、保護者の合同であります。

○括弧内は代表者名を表します。

○數回重ねての御送金は、第一回目合計して掲載しました。
○第一、二回總高の表の記入してあります方は、第一回も第二回
目の時も獻金して下さいました方です。

第二回金高	第一、二回總高	住 所	氏 名
一〇五、〇〇 ^四		兵庫縣岩屋町	繪島幼稚園
七〇、一〇		米子市西町	良善幼稚園
四〇、〇〇	七〇、〇〇 ^四	東京都杉並區和田本町九〇九	和田幼稚園(小島莊平)
三四二、三一		栃木縣日光町日光二三〇〇輪王寺門跡事務所	日光幼稚園
五〇、〇〇		東京都杉並區和田本町六六六	ムサシノ母子寮ホマレ幼稚園(牧野修二)
四一七、二三		鹿兒島市易居町四五	錦城幼稚園
五、〇〇		鹿兒島縣加治木町	加治木幼稚園
六〇、一〇		長野市箱清水町	長野高等女學校附屬國民保育園
二三三、六四		京城府龍山區榮町一	龍山幼稚園
五〇、〇〇		半田市大字龜崎字大池二九	半田市立龜崎幼稚園
一五八、〇〇		福島縣白河町中町	白河幼稚園(足立俊雄)
二五五、六六		新潟市西堀通三番町	西堀幼稚園(倉田ミス)
二〇〇、〇〇	五〇〇、〇〇	和歌山市岡山町	和歌山幼稚園(鹽路玉枝)
四三六、五〇		大連市楓町二二	南山麓幼稚園(鈴木フミ)
三〇、八〇		神奈川縣大船町臺四九	大船幼稚園
一二八、八〇		大連市羽衣町七	双葉幼稚園
一二七、三〇		名古屋市榮區南伊勢町	名古屋市立第二幼稚園

一五〇、〇〇
 二二、八五
 二一〇、〇〇
 六〇、四五
 五五〇、〇〇
 一五二、〇〇
 一〇一、六五
 五三〇、〇〇
 一〇〇、〇〇
 五、〇〇
 一一〇、一〇
 五六〇、〇〇
 一〇二、〇〇
 一〇、一〇
 三、六〇
 二五〇、〇〇
 四六、八〇
 一五〇、〇〇
 二〇〇、〇〇
 五〇九、〇〇
 六八、〇〇
 一〇〇、〇〇
 二〇〇、〇〇
 五〇、〇〇
 八五、〇〇
 二〇、〇〇

九九、二二
 一五一、六五
 六三〇、〇〇
 一二八、四〇
 二五、一〇
 一二七、九〇
 三九二、五〇
 二五〇、〇〇
 一〇五九、〇〇
 三〇〇、二〇
 九五、〇〇
 一四一、〇〇

岡山市網濱
 濱田 市
 東京都麴町區六番町八
 山形市七日町新道
 臺灣臺南州嘉義郡大林街甘蔗崙四
 大連市霞町四九
 八王子市寺町二九
 奉天市敷島區協和街三段十八號
 東京都麴町區富士見町
 岩手縣田老村
 富山縣魚津町
 上海市多倫路二七〇 知恩院內
 大分縣臼杵町祇園洲
 東京都荏原區平塚七ノ一〇四九
 高知市下島町二番地
 青島德縣路十一號
 愛知縣寶飯郡
 岸和田市岸城町
 京都市高倉六角下ル
 東京都麴町區六番町一四ノ一
 朝鮮釜山府大新町
 東京都品川區大井原町五二〇八
 玉野市宇野
 新潟縣龜田町高山
 靜岡縣島田町
 群馬縣草津町

岡山託兒所(折井彌留枝)
 市立濱田幼稚園(大國四郎右衛門)
 番町幼稚園(徳久智江子)
 山形聖公會幼兒厚生園
 私立大林幼稚園
 沙河口幼稚園
 中央 幼稚園
 奉天双葉幼稚園(木下博子)
 富士見幼稚園(山村キヨ)
 鯛生産業株式會社田老鑛業所保育園
 魚津 幼稚園
 華頂 幼稚園
 白杵幼稚園(仲谷榮)
 洗足幼稚園(上澤謙三)
 高知市旭保育園(田所茂)
 獎健幼稚園(宗像節子)
 蒲郡幼稚園(伊藤榮一)
 市立岸城幼稚園
 日彰 幼稚園
 雙葉 幼稚園
 九德幼稚園(山路キクエ)
 東京昭和保姆養成所昭和十八年度卒業生
 私立宇野幼稚園(中山春)
 龜田 保育園
 町立島田幼稚園(三浦ふゆ)
 栗生保育所(岩田たま)

八二、三〇
 三〇、〇〇
 二七、九五
 八〇、〇〇
 二七、四五
 一〇〇、一〇
 二五、〇〇
 二五、〇〇
 一一五、七六
 一五五、〇〇
 三三、〇〇
 六八、六〇
 三〇、一〇
 七一、二八
 三一五、〇〇
 二七〇、〇〇
 一〇、〇〇
 一〇、〇〇
 五〇、〇〇
 五六、〇〇
 二〇〇、〇〇
 五四、〇〇
 一〇〇、〇〇
 五五、〇〇
 一四二、六二

二二〇、三〇
 七八、九五
 二四七、〇〇
 四八、九七
 一〇五、〇〇
 舞鶴市
 舞鶴市
 四一五、七六
 八〇、五〇
 四〇、一〇
 五五五、〇〇
 五五〇、〇〇
 九五、〇〇
 七六、〇〇
 一〇四、〇〇
 一五五、〇〇
 一二〇、〇〇
 二一四、一二

靜岡市追手町城内
 肇中市新高町大師寺内
 京都府綾部町字上野
 秋田市龜ノ丁西土手町四
 鹿児島市外谷山町曬屋九九〇
 小樽市富岡町三丁目
 舞鶴市
 舞鶴市
 高崎市柳川町一三
 關東州金州會新金州五九内外綿株式會社金州支店
 新潟縣小千谷町
 秋田縣花岡町 株式會社藤田組花岡鐵業所
 岡山縣金浦町西濱
 横須賀市汐留町五八
 靜岡市三番町五五
 宇都宮市松ヶ峰町
 東京都麴町區宮城内吳竹寮
 同 右
 靜岡市稻川町三丁目
 佐賀市松原町
 佈磨市惠美酒町
 靜岡縣興津町中宿
 廣島市村木町三
 德島縣池田町
 熱河省承德迎水垠街

不二幼稚園
 新高保育園(生方仁雅)
 綾部幼稚園
 秋田幼稚園(鹽谷嘉綱)
 谷山愛兒園(長田シゲ)
 小樽藤幼稚園
 舞鶴市立舞鶴幼稚園(大槻平治郎)
 舞鶴市立舞鶴幼稚園まさこ會(大槻平治郎)
 高崎市立高崎幼稚園(出岸はま)
 桂月幼稚園(松木重造)
 小千谷幼稚園(久保田芳江)
 双葉幼稚園(日野諄)
 金浦保育園
 横須賀幼稚園(福本ユキ)
 私立盈進幼稚園(岡晴)
 松ヶ峰幼稚園
 大島多喜子
 島津榮枝
 私立靜和幼稚園
 佐賀村雲幼稚園(大鷗さと)
 飾磨幼稚園
 桃花幼稚園
 無得幼稚園(中村シナ子)
 池田幼稚園
 私立承德幼稚園(萩野信昭)

一〇五、〇〇	福島縣喜多方町
七〇〇、〇〇	東京都小石川區鷺籠町二〇六
三三三、二〇	福岡縣若松市櫻町二丁目
五五、〇〇	岡山縣伊里村
三〇〇、〇〇	五〇〇、〇〇
六五、一〇	下ノ關市長府
九〇、〇〇	一五三、一〇
六三、二〇	一六八、〇〇
四六、〇〇	一二三、二〇
三三、五〇	一二四、〇〇
八三、三〇	八二、五〇
七〇、四〇	一三三、三〇
七九、〇〇	一二〇、四〇
一四五、〇〇	二〇一、〇〇
三〇〇、〇〇	三九〇、六〇
一七〇、一五	四〇〇、〇〇
六一、〇四	德山市吉屋町
五一、四〇	兵庫縣米田町
三〇、〇〇	愛媛縣三島町
七、〇〇	北京市東四、六條十三號
五五、五〇	岡山縣足守國民學校
一〇、〇〇	埼玉縣所澤町久米
一六〇〇、〇〇	埼玉縣所澤町久米八六五
四〇、一〇	二四〇〇、〇〇
一二一、五〇	六五、一〇
二二〇、一五	二五四、三五

四六〇、四四	東京都小石川區鷺籠町二〇六
九〇、〇〇	福岡縣若松市櫻町二丁目
五〇〇、〇〇	岡山縣伊里村
一五三、一〇	下ノ關市長府
一六八、〇〇	札幌市北七條西三十三丁目
一二三、二〇	長崎市筑後町二五
一二四、〇〇	長崎市
八二、五〇	長崎市御船藏町一
一三三、三〇	長崎市稻佐町
一二〇、四〇	長崎市
二〇一、〇〇	長崎市櫻馬場町
三九〇、六〇	長崎市袋町九
四〇〇、〇〇	小樽市
德山市吉屋町	德山市吉屋町
兵庫縣米田町	兵庫縣米田町
愛媛縣三島町	愛媛縣三島町
北京市東四、六條十三號	北京市東四、六條十三號
岡山縣足守國民學校	岡山縣足守國民學校
埼玉縣所澤町久米	埼玉縣所澤町久米
埼玉縣所澤町久米八六五	埼玉縣所澤町久米八六五
二四〇〇、〇〇	二四〇〇、〇〇
六五、一〇	六五、一〇
二五四、三五	二五四、三五

喜多方幼稚園	大和郷幼稚園
若松愛國幼稚園(有馬驍)	ほなみ保育園(上品淳應)
下ノ關市立長府第一保育所(末若シキブ)	桑園幼稚園(成田清子)
玉その幼稚園	親愛幼稚園
肥長幼稚園	稻佐幼稚園
水濱幼稚園	玉ノ江幼稚園
櫻ヶ丘幼稚園	長崎幼稚園
小樽市立手宮保育園	德山幼稚園(御手洗歌子)
米田幼稚園(立岩成子)	三島幼稚園(好井榮子)
燕京幼稚園(藤本富久)	附設足守幼稚園
富士見幼稚園(吉岡久子)	吉岡久子
庚子記念京城公立幼稚園(山中千代穂)	精幼幼稚園
町立見付幼稚園	藤幼稚園(牧野キク)

五〇、〇〇
 七八三、五〇
 二一、一一二
 三三、〇〇
 一九〇、〇〇
 一〇、〇〇
 六五、〇〇
 一七一、〇〇
 一〇〇、〇〇
 一〇〇、〇〇
 一九二、五〇
 三一、五〇
 二五六、〇〇
 三〇、八〇
 五二、〇〇
 三五、〇〇
 一〇〇、一〇
 一〇四、二〇
 一一、八五
 六八、三〇
 一四、七〇
 一三七、一〇
 一〇、〇〇
 二七〇、〇〇
 一〇〇、〇〇
 一〇〇、〇〇

一二〇、〇〇
 一〇五七、五〇
 三九七、一二
 五七、〇〇
 二九〇、〇〇
 五二一、〇〇
 二〇〇、〇〇
 四九、五〇
 四八、八八
 九二、一〇
 八六、五五
 一四〇、一〇
 一七六、五〇
 一二三、三〇
 同右
 三八〇、〇〇

兵庫縣豐岡町東本町
 長崎市城山町一丁目北一條
 東京都大森區大森五丁目三二
 京都市東山澁谷
 大牟田市汐屋町 第八隣組
 久留米陸軍病院付
 新京特別市東安街五〇七號
 神奈川縣大磯町大磯
 大連市星ヶ浦小松臺二一九
 靜岡縣燒津町六二ノ三
 佐世保市三浦町三六
 芦屋市精道町
 廣島縣因ノ島土生町
 愛媛縣吉田町
 仙臺市北一番町九五
 富山縣石動町
 名古屋市東區石岡町一丁目三一
 吳市藏本通六丁目
 吳市吉浦町東本町一ノ二六
 千葉縣佐倉町
 同右
 鹿兒島市高麗町
 田邊市南新町
 德島市
 岡山市東田町
 靜岡縣藤枝町鬼岩寺

町立豐岡第一幼稚園
 城山幼稚園(向井マユミ、大多和包子)
 城南幼稚園
 修道保育所
 三川幼稚園(福富ツユエ)
 陸軍衛生曹長 土井熊雄
 満山幼稚園
 大磯幼稚園(四澤正吉)
 星ヶ浦幼稚園
 燒津幼稚園(相田きく)
 聖心幼稚園
 市立精道幼稚園
 土生町幼稚園(山形三從)
 村井幼稚園(清家晋)
 仙臺ホサナ幼稚園(山田光秀)
 町立石動幼稚園(池田宗平)
 天使幼稚園
 吳中央幼稚園
 吳中央戰時保育園吉浦分園
 佐倉幼稚園
 佐倉幼稚園園兒 谷田部衛
 共研舎幼稚園
 昭和幼稚園(藤江茂應)
 德島師範學校附屬幼稚園
 深抵幼稚園(馬場千代乃)
 藤花幼稚園(櫻井謙友)

二〇〇、三〇
 五〇〇、〇〇〇
 二五、〇〇〇
 五〇〇、〇〇〇
 三〇、〇〇〇
 五〇、〇一〇
 二〇一、一五
 四〇、〇〇〇
 三〇、〇〇〇
 二二七、七五
 一四七、四〇
 三四、〇〇〇
 二〇五、〇〇〇
 六〇、〇〇〇
 一〇〇、〇一〇
 三一、五〇〇
 一三〇、五〇〇
 二四五、二一
 七〇、〇〇〇
 一二九、九〇
 五八、五〇〇
 三九、六〇〇
 三七、二二
 五〇〇、〇〇〇
 六五、〇五
 五〇、〇一〇

三六六、三〇
 八〇〇、〇〇〇
 一〇五、〇〇〇
 一〇〇、一〇〇
 四〇五、七二
 四八、〇〇〇
 二七五、〇六
 六四、〇〇〇
 三〇五、〇〇〇
 八七、〇〇〇
 五六三、一〇
 二四一、八〇
 二五〇、五〇〇
 九三、八〇〇
 五二、三二
 一五八、〇五
 八〇、〇一〇

仙臺市
 唐津市
 臺南州新營郡新營街一二七
 千葉縣成田町
 今治市大手通
 兵庫縣
 名古屋市東區筒井町一ノ四
 香川縣直島村
 鶴岡市馬場町二三
 上海楊樹浦路一九七〇號上海紡織株式會社
 戶畑市中原花園町
 坂出市
 小樽市富岡町一ノ一六
 東京都青梅町一二七五
 高知市鷹匠町
 岡山縣妹尾町
 福山市東堀端町
 大阪府繩手村河内
 福井市尾上中町
 四日市市中新町
 四日市市市
 四日市市市
 四日市市市
 倉敷市元町四四九
 鳥取縣智頭町
 佐賀市上多布施町大島區

宮城師範學校附屬幼稚園(岩館廣忠)
 唐津幼稚園(吉富フキ)
 私立新營幼稚園(田口弼一)
 成田幼稚園
 昭安幼稚園(田坂雪)
 豐岡町立第二幼稚園
 慈友會幼稚園
 直島第一保育所(三宅シヅエ)
 莊內婦人會幼稚園、保育園(長南信太郎)
 白楊幼稚園(原田茂)
 中原幼稚園
 香川師範學校附屬幼稚園
 花園幼稚園
 青梅幼稚園(佐藤友)
 柳原幼稚園(和田万龜子)
 私立妹尾保育園(藤谷時治郎)
 市立福山幼稚園(岸本貞子)
 惠徳幼稚園
 尾上幼稚園(武鏡秀子)
 四日市立四日市幼稚園(壹岐義信)
 四日市立第三幼稚園
 四日市立第七幼稚園
 四日市立富田幼稚園
 倉敷市保育會(松井惠成)
 公立諏訪幼稚園
 佐賀託兒園(柴田知道)

六〇、〇〇
一五二、〇〇
一一八、四〇
一三、四三
四〇、一〇
三〇、〇〇
四〇、四〇
一一八、四〇
五六、一〇
一六〇、〇〇
二二五、八〇
一二五、〇〇
一五、〇〇
一二〇、〇〇
五八八二、四九

一一四、〇〇
二八七、八八
二四〇、五一
六三、五三
一一五、〇〇
三二四、二六
一一六、一〇
三七五、八〇
七七、〇〇
二六〇、〇〇

名古屋市榮區久屋町一ノ四
愛知縣三谷町
岩手縣花卷町
岡山縣御休村
玉野市 玉造船所
高知市寶永町一四九
新潟縣村松町
弘前市土手町
宇都宮市戸祭町
名古屋市昭和區鹽付通六ノ八
大連市西通二八
濱松市廣澤町
岡山縣朝日村
高田市大手町
宇都宮市
(參加園名)
宇都宮市旭町二丁目
宇都宮市清水町
宇都宮市西原櫻町
宇都宮市尾上町
宇都宮市松ヶ峰町
宇都宮市今泉町
宇都宮市四條町
足利市
足利市
足利市
栃木市
栃木市

名古屋市立第一幼稚園(大島せき)
三谷幼稚園(小田麟平)
花卷幼稚園
御休村保育園(岸本為大)
奥玉保育園
高知市下知保育園(池田登志)
村松幼稚園(岡村傳一郎)
弘前幼稚園(齋藤そゝ)
栃木前範學校附屬幼稚園
希望幼稚園(大河内林次郎)
西廣場幼稚園(渡邊花子)
廣澤幼稚園(鈴木まづ)
朝日幼稚園
高田幼稚園
栃木縣幼稚園聯合會(上野松次郎)
宇都宮幼稚園
宇陽幼稚園
愛隣幼稚園
雙葉保育園
松ヶ峰幼稚園
梅林幼稚園
清愛幼稚園
足利幼稚園
友愛幼稚園
花園幼稚園
栃木幼稚園

五五、〇〇	一五、〇〇	栃木市
四四一、一五	六八一、一五	栃木市
一八、三一	三一、三一	栃木縣日光町
五、〇〇	四八、六〇	栃木縣今市町
一二五、五〇	二五七、〇〇	栃木縣氏家町
三八、五八	八〇、七〇	栃木縣矢板町
二四、一〇	六四、一〇	京都府園部町
一〇三、〇六	二〇三、〇六	京都府漢江通一ノ四四
七九、〇〇	一六六、四九	大津市
一八〇、〇〇	三九二、五六	大津市上堅田町
一七四、一三	二九一、六三	大連市櫻花臺景山一
一〇〇、〇〇		船橋市
五〇、〇〇		新潟縣小出町
一三〇、〇〇		佐賀縣有田町白川
一二三、二五	二二三、三五	滋賀縣八日市町
二〇、一〇		玉野市
一五、〇〇	三〇、〇〇	館山市
一〇三、五二		名古屋巖區菅原町三ノ二
二二〇、一三	二九八、九九	大垣市丸ノ内二丁目

若葉幼稚園	昭和幼稚園	佐野幼稚園	日光精銅所幼稚園	今市幼稚園	氏家幼稚園	矢板幼稚園	彰徳幼稚園	愛光幼稚園	清心幼稚園	近松幼稚園	縣立大津高女附屬幼稚園	園山幼稚園	市立石山幼稚園	市立膳所幼稚園	市立大津幼稚園(中野良三)	櫻花臺幼稚園	船橋國民學校附屬幼稚園(作田彦)	第三尼學校附屬小出町保育園(中村嶺道)	町立有田幼稚園(江口正子)	町立八日市幼稚園	玉向山愛育園(千北隆山)	館山幼稚園(熊井嘉鶴)	珉光院幼稚園(小櫻秀謙)	大垣市立幼稚園(青木彦次)
-------	-------	-------	----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------------	-------	---------	---------	---------------	--------	------------------	---------------------	---------------	----------	--------------	-------------	--------------	---------------

一三五、一〇
 一〇九、六〇
 一五〇、一〇
 一五一、〇〇
 一五五、〇〇
 四二、四〇
 一七六、八〇
 二七、〇〇
 一六〇、一〇
 一八三、〇〇
 三九、八〇
 三〇、一〇
 二九〇、〇〇
 一二六、一五
 一〇、〇〇
 三五〇、〇〇
 七〇、〇〇
 一〇〇、〇〇
 一三五、一〇
 六八、一五
 一〇〇、〇〇
 一五〇、〇〇
 八〇〇、〇〇
 一一〇、一〇
 八、〇〇
 八五、〇〇

愛知縣形原町
 靜岡縣磐田町
 佐賀市水ヶ江町新道
 平壤府竹園町
 濱松市元城町五
 群馬縣澁川町長塚町
 大阪市天王寺區堂ヶ芝町
 高知市南河瀬町一四六
 前橋市
 熊本縣本渡町
 大分市
 郡山市清水臺九五
 名古屋市榮區南武平町三ノ五
 松江市殿町
 岡山縣吉備郡
 臺北市表町一ノ五六
 臺北市下奎府町一ノ二六六
 吳市東川原石町四五
 鹿兒島市藥師町
 玉野市玉
 高知市新本町一ノ三二
 橫濱市中區若葉町一ノ二
 靜岡市鷹匠町二丁目
 岡山縣金光町
 廣島縣忠海町
 光市
 光井

形原幼稚園(清水魯一)
 町立中泉幼稚園
 佐賀婦人會附屬幼稚園
 平壤鐵道兒童遊園(卵野木キヨ)
 市立濱松元城幼稚園
 澁川幼稚園(松本住次郎)
 二葉幼稚園(木村重遠)
 潮江保育園(大和田政)
 群馬師範學校附屬幼稚園
 本渡町立幼稚園(高濱リツ)
 大分市大分幼稚園(永野道男)
 双葉幼稚園(島海克巳)
 松若幼稚園
 折づる幼稚園(吉川マスノ)
 阿曾幼稚園(實原專一)
 私立臺北幼稚園(下見マサ)
 愛育幼稚園
 吳西部保育園(大橋強一)
 鹿兒島幼稚園
 玉幼稚園(樋口壽雄)
 聖園マリア園(村岡らさ子)
 聖ミカエル天使園
 靜岡幼稚園
 金港幼稚園(佐藤金造)
 聖愛幼稚園(井原忠生)
 光井幼稚園(長岡秀子)

八三、五〇
 三五、一〇
 二〇、〇〇
 一六〇、〇〇
 八〇、〇〇
 三三、〇〇
 四〇、〇〇
 二〇、〇〇
 六〇、〇〇
 一三、〇〇
 二〇、〇〇
 五五、〇〇
 六六、〇〇
 二三、〇〇
 四九、一一
 二三、〇〇
 一一、五一
 一〇、〇〇
 五〇、〇〇
 一一、一〇
 二〇、〇〇
 一一、〇〇
 一五、〇〇
 八〇、〇〇
 二〇、〇〇
 二〇、〇〇

五〇、一〇
 二八〇、〇〇
 一六〇、〇〇
 九三、〇〇
 八〇、〇〇
 五二、〇〇
 一二〇、〇〇
 三三、〇〇
 四八、〇〇
 一三〇、〇〇
 六三、〇〇
 一五一、二四
 二二一、六六
 一一〇、〇〇
 富山 市
 廣島市牛田町四五〇
 玉野市 日比
 甲府市櫻町六五
 二六一、八九
 一五〇、〇〇
 二〇五、〇〇
 四〇、〇〇

松 戸 市
 酒 田 市 寺 町
 東京都杉並區堀ノ内二ノ六一五
 高松市東瓦町
 高松市宮脇町
 高松市栗林町
 高松市築地町
 高松市西ハセ町
 高松市西濱町
 高松市上天神町
 高松市田村町
 高松市六番丁
 高松市片原町
 東京都豊島區集鴨六ノ一二五七
 東京都本所區龜澤町三ノ一五
 王野市和田櫻ヶ丘
 人吉市 寺町
 長崎市櫻町二〇
 富山 市
 廣島市牛田町四五〇
 玉野市 日比
 甲府市櫻町六五
 二六一、八九
 一五〇、〇〇
 二〇五、〇〇
 四〇、〇〇
 朝鮮忠清南道禮山郡禮山邑

中部國民學校附屬幼稚園
 私立酒田幼稚園
 堀之内幼稚園(小野正美)
 中央 幼稚園
 龜 阜 幼稚園
 栗 林 幼稚園
 玉 藻 幼稚園
 鶴 尾 愛 育 園
 西 濱 保 育 所
 上天神 保 育 園
 興 亞 保 育 園
 晚 翠 幼 稚 園
 敬 愛 幼 稚 園
 十 文 字 幼 稚 園
 國東幼稚園(國東柴子)
 和田保育園(神崎松次)
 人 吉 幼 稚 園
 伊 藤 少 幼 稚 園
 富山縣師範學校女子部附屬幼稚園
 ときは幼稚園(登世岡界雄)
 日比幼稚園(森田秀夫)
 進 德 幼 稚 園
 大津市立長等幼稚園
 彌榮幼稚園(山口良吾)
 町立峰山幼稚園(安井雪枝)
 私立禮山新明幼稚園

三二五、五〇
 二九五、一〇
 一一〇、〇〇
 三五、〇〇
 二二二、二九
 一一〇、七七
 二〇〇、〇〇
 五〇、八〇
 一五、〇〇
 一五五、〇〇
 三五〇、〇〇
 一三一、五六
 五〇、四〇
 一〇、〇〇
 一六〇、〇〇
 六五、〇〇
 三三、一〇
 八六、一〇
 四〇〇、一〇
 一〇〇、〇〇
 一四一、一〇
 二八六四、〇〇
 二〇〇、〇〇
 四〇、〇〇
 一三、〇〇
 三〇、一〇

五九六、二〇
 二〇八、一七
 五一〇、〇〇
 一〇〇、八〇
 三〇、〇〇
 三二七、五〇
 六〇一、六五
 二三八、〇六
 二〇、〇〇
 四六四、六〇
 三一五、〇〇
 八八、一〇
 一七二、一〇
 八五〇、一〇
 二五二、一〇
 四〇六四、二〇
 三七〇、〇〇
 一六一、五〇
 二五六、八〇
 四五、一〇

京城府西四軒町一六二 高野山朝鮮別院內
 仁川府山手町
 秋田市築地中町一七
 福島縣小高町
 岡山縣玉島町
 立川市錦町二ノ七六六
 名古屋市榮區伏見町一
 石川縣千里濱村
 山梨縣東山梨郡
 岡山縣久世町
 高知市田淵町
 鹿兒島市東千石町一
 愛媛縣北條町
 東京都杉並區荻窪二ノ一二二
 松江市雜町
 鳥取市東町
 青森縣黑石町
 柏崎市港町三丁目
 沼津市千本綠町
 和歌山市岡山町
 靜岡縣藤枝町本道城
 京城府明治町
 千葉縣千代田町
 靜岡縣掛川町宗心寺內
 香川縣三豐郡
 山梨縣谷村町

私立高野山幼稚園
 仁川記念公立幼稚園(脇元茂)
 檜山幼稚園
 小高町保育園(星清森)
 玉島幼稚園
 多摩幼稚園(關球子)
 市立第三幼稚園(淺野壽美子)
 千里濱保育園(宮地利知郎)
 塩山幼稚園(古屋常吉)
 久世幼稚園
 市立第一幼稚園(堀見春惠)
 和光幼稚園(村上西忍)
 北條幼稚園(二宮謙道)
 新庄よしこ
 白濁幼稚園(吉岡ケン)
 鳥取縣立鳥取高等女學校附屬久松幼稚園
 町立黒石幼稚園(乘田千代吉)
 柏崎幼稚園
 ルンビニ幼稚園(林輝彦)
 和歌山幼稚園同窓會
 町立藤枝幼稚園(岡田と代)
 愛國幼稚園(麻柄トヨ)
 四街道幼稚園(井筒金治)
 橘廣幼稚園
 觀音寺幼稚園(松木ユキノ)
 青藍幼稚園(原激信)

一〇〇、〇〇〇	二二五、六四	東京都鹿布區筭町一四六
二〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	大阪市東住吉區平野流町
一〇、一〇〇	二一、〇六	東京都清瀨村火止野鹽一六一八
一〇〇、〇〇〇		北海道名寄町大通リ二丁目
三〇、〇〇〇	二三〇、〇〇〇	福島縣保原町八ノ二七
一三〇、〇〇〇	三三〇、〇〇〇	會津若松市原ノ町三五
五一、〇〇〇	九四、五五	香川縣三豐郡
二二、九三	四八、九三	香川縣三豐郡
一〇、四〇〇	二二、〇〇〇	香川縣三豐郡
二二、三〇〇	三六、一六	香川縣三豐郡
七二、〇〇〇	一三二、〇〇〇	香川縣仲多度郡
一三〇、〇〇〇	一八一、八〇	香川縣仲多度郡
一〇八、〇〇〇	二二〇、七〇	香川縣仲多度郡
五〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇	香川縣綾歌郡
六二、〇〇〇	一一三、〇〇〇	坂出市
二〇、二七	三二、〇七	丸龜市
七〇、〇〇〇	二二六、〇〇	丸龜市
一九六、二〇		新潟縣新發田町
一〇五、〇〇〇	二八五、六〇	室蘭市常盤町
一〇、〇〇〇		東京都牛込區新小川町江戸川住宅四一
二五四、七五	四二二、三四	兵庫縣西脇町
一五〇、〇〇〇	三〇二、四〇	鹿兒島市
二〇四、二四		岡山市弓之町
一〇〇、〇〇〇	一六〇、〇〇	福井市手寄中町二二
五一、〇〇〇	七四、五〇	香川縣圓座村
四一二、〇〇〇		新潟市學校町三番町

若葉會
常磐會幼稚園
東星幼稚園
名寄幼稚園(石丸瀧雄)
保原町幼稚園
會津幼稚園(渡部辨了)
豐濱幼稚園(合田ミサヲ)
仁尾平石幼稚園(淺野カメ)
上高瀨保育所(大井キサ)
詫間幼稚園(大西國榮)
多度津幼稚園(藤岡文子)
善通寺幼稚園(藤江愛子)
琴平幼稚園(宮武チツエ)
宇多津幼稚園(吉成モト)
坂出幼稚園(淡河わさ)
鹽屋別院幼稚園(遠藤スエ)
丸龜西幼稚園(池田章子)
新發田幼稚園(伊藤榮作)
双葉幼稚園
橋本七三子
西脇幼稚園(中村多代)
鹿兒島縣師範學校女子部附屬幼稚園
岡山市立弘西幼稚園(從野靜江)
私立城東報德幼稚園
圓座幼稚園(田村コズエ)
學校町幼稚園(中山百代)

